



美しい島の景観づくり
> 加波島(カパド)の自然と人間、そして共存

GAPADO

P R O J E C T

Contents

- > 01 事業背景
- 02 加波島の現況
- 03 基本構想
- 04 推進日程

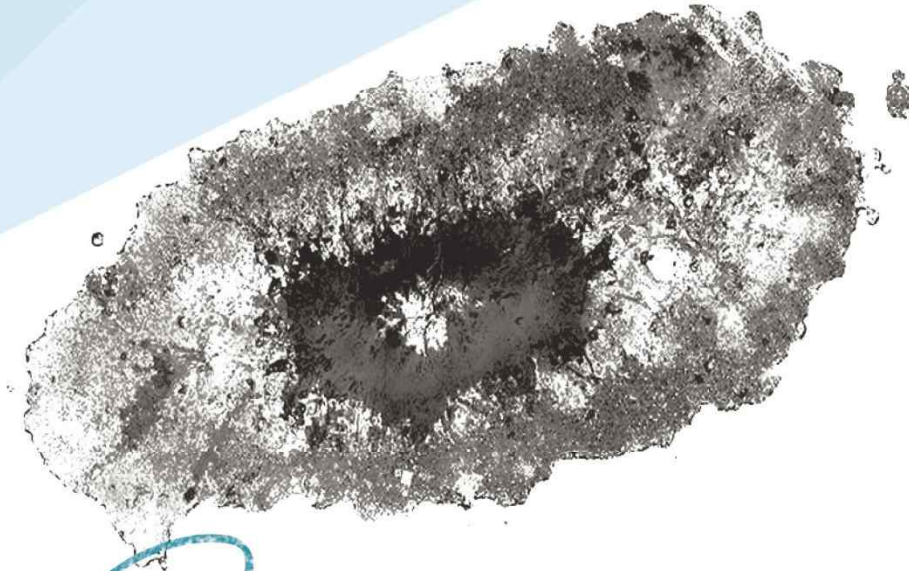


01 事業背景

- ❑ 島地域への関心不足により劣悪なインフラ、定住人口減少など **住民生活の立ち後れが深化**
- ❑ 島への観光客増加、住民の所得増加に対する欲求などで **自然景観破壊と住民生活の毀損の可能性が増加**
- ❑ 島景観の保全とともに住民所得創出を実現し、**美しい島の景観づくりに関する新しいモデルを提示**



02 加波島の現況



慕瑟浦港
(モスルポハン)



加波島
(ガパド)

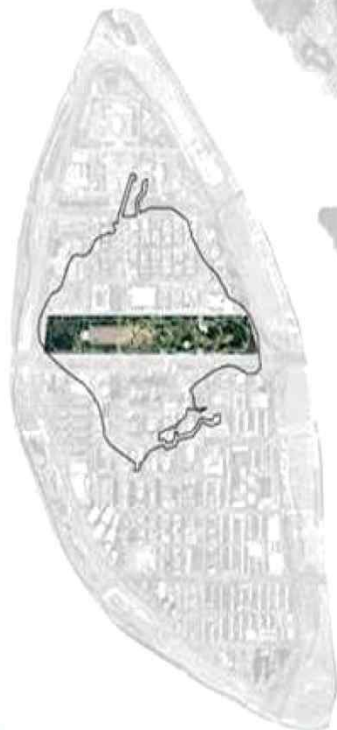
- ・位置：西帰浦市(ソギポシ) 慕瑟浦港(モスルポハン)から 5.5km、渡航船で20分
- ・地形：最高海拔高度20mで全体が平坦な島
- ・面積：0.847km²、横/縦の長さ：約1.4kmで正方形
- ・人口：129世代、245人(男126、女119)

*2014年9月末の住民登録基準



馬羅島
(マラド)

02 加波島の現況 | 面積



▶ 汝矣島(ヨイド)



▶ 直島



▶ 犬島



▶ 18ホールゴルフ場

Walkable Community

- ・ 横幅は汝矣島(ヨイド)公園の長さと同じ位
- ・ 面積は日本の犬島、18ホールゴルフ場と同じ位
- ・ **歩きやすい規模 (walkable community)**

02 加波島の現況 | 自然景観

島の規模が小さくて地形が低めなので、
朝から晩までの自然景観の変化が観察できる島



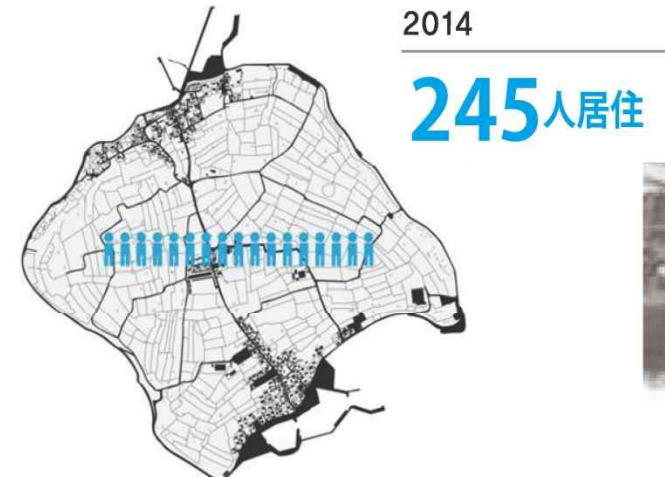
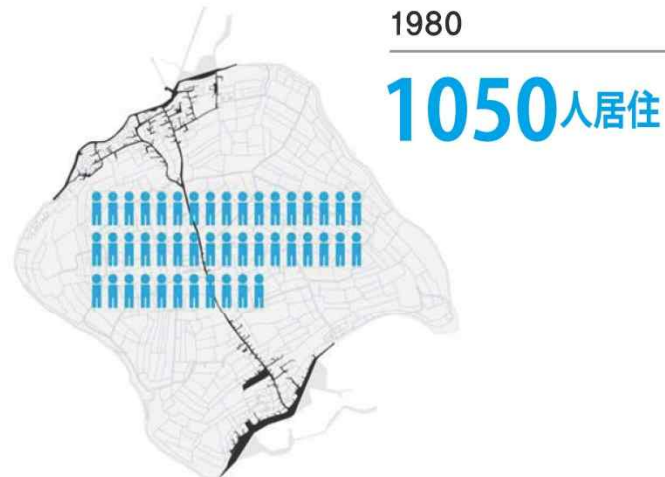
02 加波島の現況 | 自然景観



周辺の海と農耕地で体験できる様々な自然景観資源

海の景観 | 海の向こうの済州(チェジュ)本島景観 | 海岸景観(渡り鳥) | 石垣景観 | 農耕地景観(麦畑)

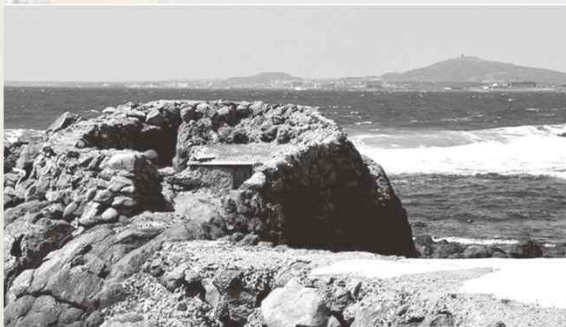
02 加波島の現況 | 人口



- ・ 以前1,000人以上が居住していた時もあったが、
- ・ 現在約245人が居住していて、殆どが水産業に従事



02 加波島の現況 | 歴史と文化



長い間に積み重なってきた歴史文化資源

- ・教育(辛酉義塾(シンユイスク)1921~)
- ・信仰(ハルマンダンなど)
- ・生産文化(海女と海の佃)

02 加波島の現況 | 村



上洞(サンドン)

- ・上洞 浦口(サンドンポグ) :
村の入り口になる浦口
- ・古い村の風景を保存
- ・一部の宿泊施設で風景破損

中洞(チュンドン)

- ・村の公共建物が密集
- ・小学校と農業施設



下洞(ハドン)

- ・下洞 浦口(ハドンポグ) :
漁船が停泊する浦口
- ・漁村の風景
- ・公民館と漁業施設



03 基本構想 | プロジェクトの方向と意味

- 1年12ヶ月違う姿を持つ村の景観、住民の暮らしの価値を理解し、村の生態と経済が持続可能になるような計画を樹立

▶ 生態学と経済学が共存する島

- 結論と過程が決まっているMaster Planではなく、変化に適切に対応するScenario Planによって計画を策定

▶ 住民、行政、専門家などの協力で事業の進行及び問題解決

- 加波島の未来像を共有するための加波島基本構想計画の完了
- 生態回復 | 施設整備 | 産業体系の改善



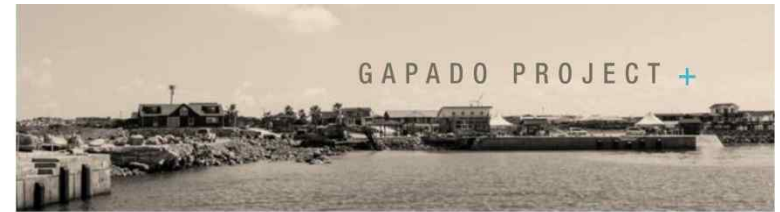
03 基本構想 | 生態回復

- ・ 村を囲む海岸道路の原状復旧など、**生態循環の回復を誘導**
- ・ 渡り鳥飛来地、湧泉などの放置された **自然景観の回復**



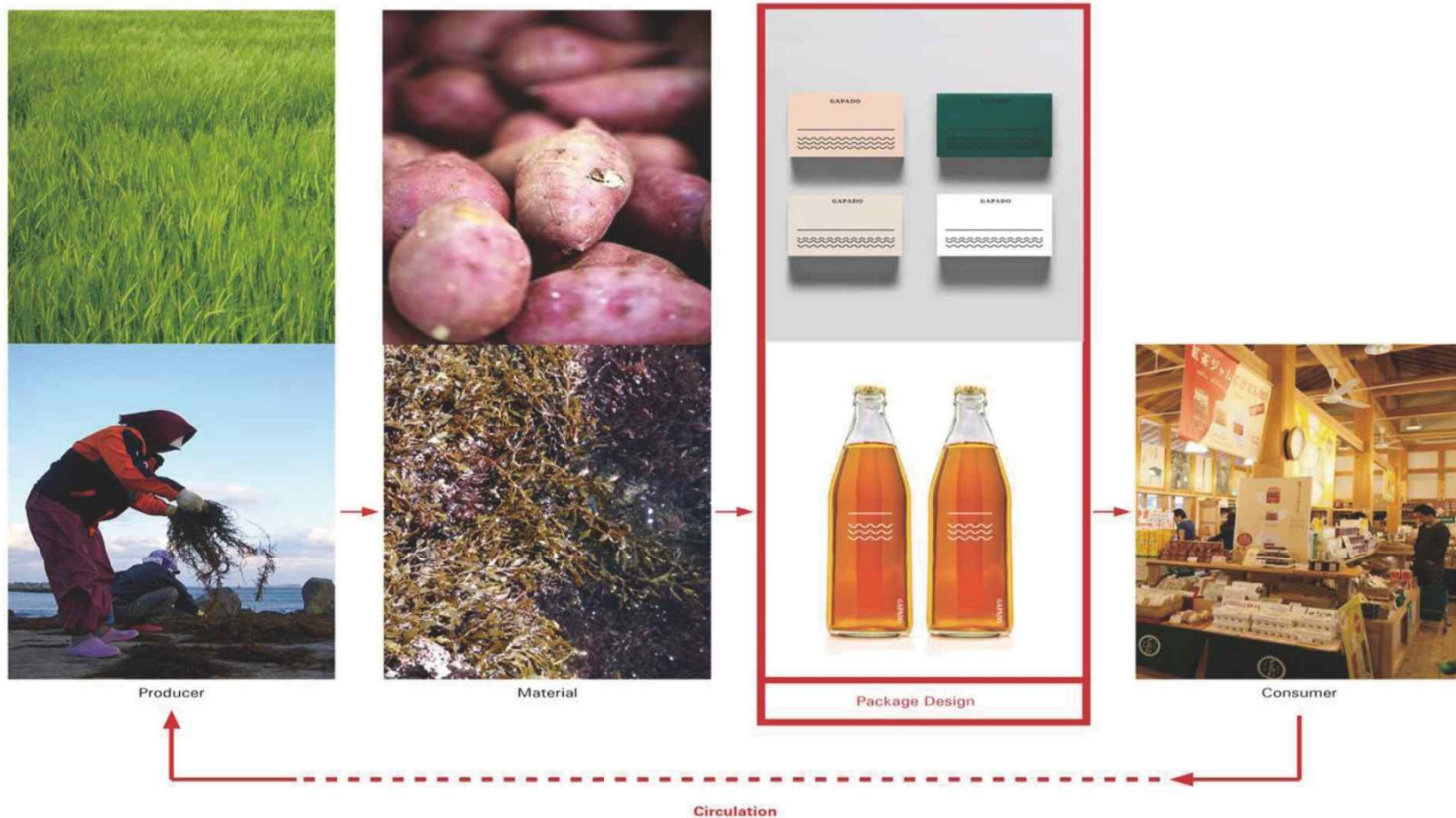
03 基本構想 | 施設整備

- ・ 村の施設整備は、村の景観整備の目的とともに産業体系改善の目的を持つ
- ・ 上洞(旅行業)、中洞(農業)、下洞(漁業)でそれぞれの産業に対する本部(センター)の役割を期待
- ・ 新築の建物より既存の建物を活用して村の再生を誘導
- ・ 気候変化に適合した省エネ型建物へとリモデリング

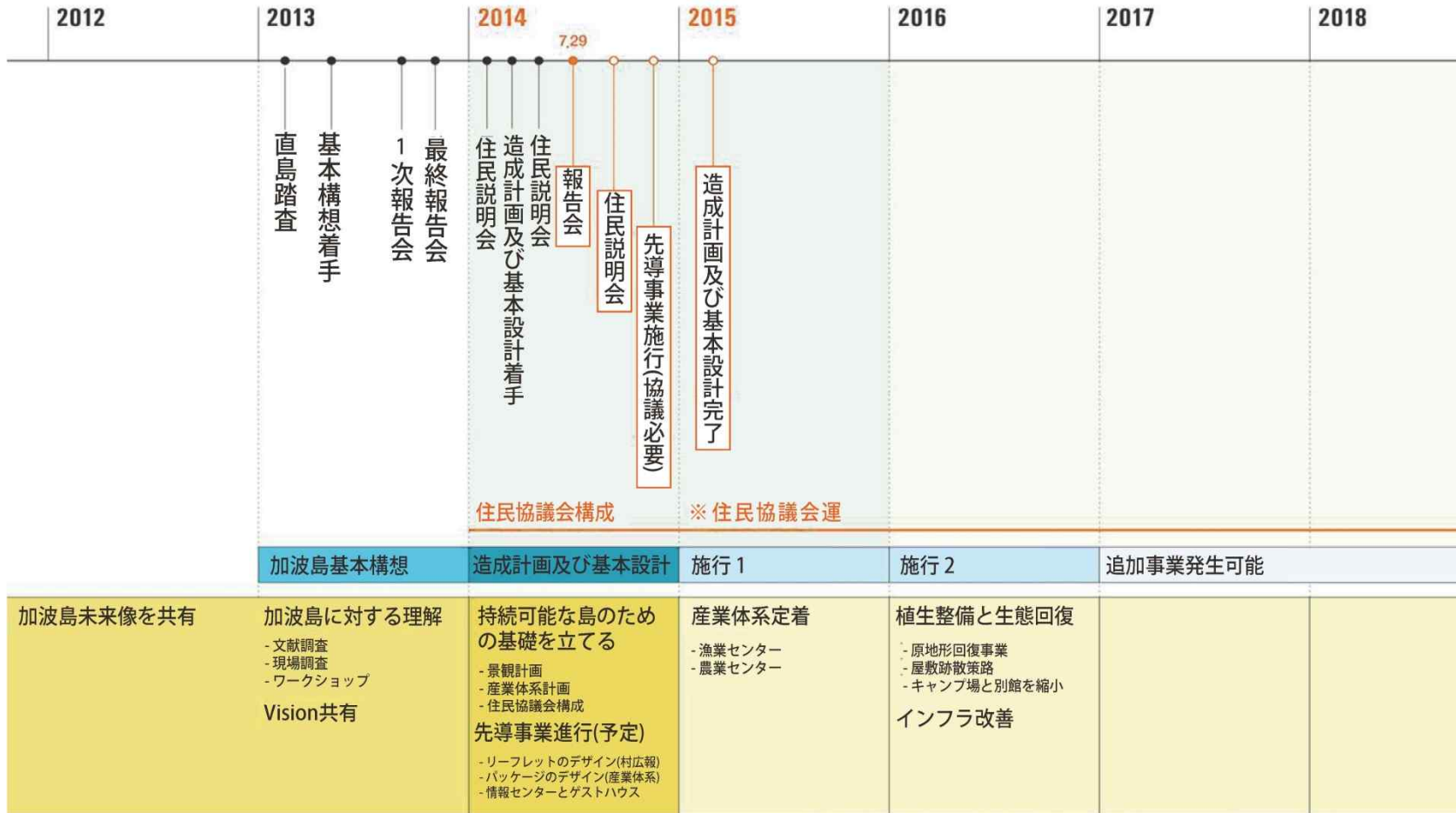


03 基本構想 | 産業体系の改善

- ・1次産業中心の産業体系が2・3産業まで拡大されるように生産物の加工及び包装デザインを企画
- ・アンテナショップを設置し、加波島製品のブランド化及び需要増加を図る



04 推進日程



第1回世界リーダーズ保全 フォーラム参加へのご協力のお願い

The 1st World Leaders' Conservation Forum in Jeju 2015

環境分野の世界的なリーダーたちが回復力のある社会のための
自然基盤解決策の提示を目指して

期間/場所：2015年7月中 | 濟州国際コンベンションセンター

参加人数：1,000人あまり、(国内と海外の環境リーダー、専門家など)

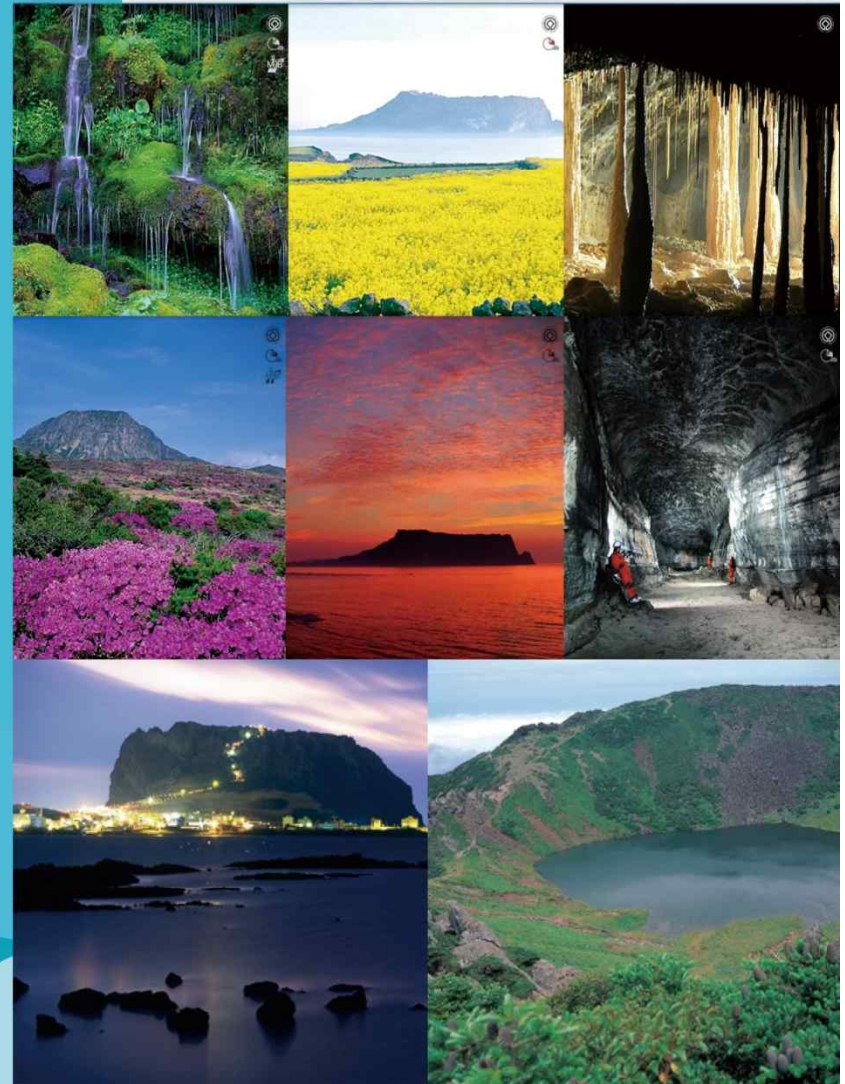
主なプログラム及びイベント - リーダース対話、専門家セッション

主催：環境部、IUCN、濟州特別自治道

<ご協力へのお願い>

8縣市道の環境施策PRセッションの運営

濟州特別自治道がご支援します。



GAPADO PROJECT +

ありがとうございます。

